



2022年度

外国人留学生特別選抜  
募集要項

# 東北学院大学への留学案内

## 1. 日本語について

東北学院大学では、ほとんどの講義は日本語で行われます。従って、東北学院大学への入学を希望する方は、講義が理解できる日本語能力を十分身につけていなければなりません。

## 2. 外国人留学生の在留資格について

外国人留学生とは、日本の大学等において教育を受ける目的をもって入国し、大学等に入学した外国人学生のことをいいます。すなわち、「出入国管理及び難民認定法」の『留学』に定める在留資格によって入国した方、および他の在留資格によって入国しその後所定の手続きを経て、入学までに上記に定める資格に変更する方が該当します。

(参考)

留 学	わが国の大学若しくはこれに準ずる機関又は専修学校の専門課程、外国において12年の学校教育を修了した者に対して、わが国の大学に入学するための教育を行う機関若しくは高等専門学校において教育を受ける活動
-----	--

## 3. 授業料減免および奨学金について

以下の授業料減免および奨学金は、いずれも「出入国管理及び難民認定法」の『留学』の在留資格を有する方が対象となります。

### (1) 東北学院大学私費外国人留学生授業料減免制度

東北学院大学では、留学生の経済的負担を軽減し、学習に専念してもらうため、私費外国人留学生授業料減免制度を充実させています。

授業料減免制度は、本学に在籍する留学生を対象としており、留学生は前年度の学業成績により授業料の30～70%の減免を受けることができます。減免額は次を参照してください。

学 部 生 入学初年度：授業料の30%、2年目以降：授業料の50%または70%

大学院生 入学初年度：授業料の50%、2年目以降：授業料の70%

※2年目以降は、成績によって減免を受けられない場合があります。

### (2) 奨学金

日本学生支援機構・地方公共団体・民間団体等の奨学金があります。

奨学金については応募者が必ずしも採用されるとは限りません。

例) 学習奨励費、亀井記念財団、平和中島財団、国立国際交流奨学財団 等

### 上記についての問い合わせ先

東北学院大学 アドミッションズ・オフィス

電話 022-264-6455

E-mail nyushi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話受付時間 (月曜日～金曜日) 9時～17時

(土曜日) 9時～12時

## 個人情報について

出願時にご記入いただいた個人情報および試験結果については、厳重に管理します。

以下の場合を除き、個人情報をどのような形式であれ利用することはありません。

- あなたの入試結果について、出身校の先生の要望により、お知らせする場合があります。その際には、当該試験での受験生全体でのおおよその順位などについて、文書での提供ではなく口頭での説明を行うこととします。
- 入学生の入試結果を、本学における教育の目的で利用することがあります。その場合には、統計データとしての処理を主とし、個人情報については、学内規程により特に許可された場合のみ、厳しい管理基準を遵守のもと、当該学部等に提供することとします。

# 東北学院大学の3つの方針

## ①入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（学修への態度）
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。（学修への態度）
3. 高等学校における学習によって、基礎的英語力及び入学しようとしている学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）
4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／学修への態度）
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（学修への態度）

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点											
		本学が実施する各入試は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜※	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学業成績による推薦	資格取得による推薦	キリスト者等推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG推薦	帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
文学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 文学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○
	3. 高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。または、英語熟達度テストにおいて一定程度の英語力を持ち、文学部における学修にその強みを生かそうとしている。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎				
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎
経済学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学修すべき基本的事項について知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の経済」「現代社会の諸問題」で学習すべき基本的事項については正しい知識を持つとともに、それらに関する社会事象について学ぼうとする関心・態度をもっている。（知識・技能／学修への態度）	知識	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎
		関心・態度	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		文章	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎	
経営学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経営学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3. 企業や社会に関して、高等学校の社会科科目ないし商業科目の教科書が扱う水準の知識があり、それらに関してさらに学ぼうとする関心と意欲をもっている。（知識・技能／学修への態度）	知識	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎
		関心・態度	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		文章	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎	

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点 (2ページ参照)												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
法学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項の知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の政治」で学習すべき基本的事項について正確な知識をもつとともに、それらに関する社会の事象について学ぼうとする関心及び態度をもっている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）	知識	○	○	◎	◎		○	○	○	◎	○	○	
		関心・態度	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき水準の英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		口頭			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後もその分野で課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）								◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）										◎	◎	◎		
工学部	1. 東北学院大学の建学の精神と教育理念を理解し、工学部における学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度/学修への態度） （機械知能工学科） 機械を学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を有するとともに、社会の一員としての自覚を有している。 （電気電子工学科） 電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系に関する広い知識の習得に意欲があり、これらの分野の学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。 （環境建設工学科） 環境、土木、建築分野で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意志があり、これらの分野の技術者として、社会への貢献を希望している。 （情報基盤工学科） IT分野に強い関心があり、本学で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を十分に持ち、継続的計画的に学習を続ける心構えと高い意欲を有している。													
		3. 高等学校における学びによって、「数学」と「理科」で学習すべき基本的知識を有している。（知識・技能/思考力・判断力・表現力）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
		4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/学修への態度）							◎	◎					
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能/学修への態度）				○						◎	◎	◎	
教養学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 教養学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、教養学部及び各学科での学びを強く望んでいる。 人間科学科では、人間に対する探究心をもち、学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。 言語文化学科では、母語及び2つの言語について学ぶ意欲を強く持つとともに、言語と文化をめぐって探究する諸分野についての確な理解と興味を有している。 情報科学科では、情報の起源や特徴などの本質に関して学んだのち、情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を修得し、情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの分野での活用を学ぶことを強く望んでいる。 地域構想学科では、「よりよい地域づくり」に強い関心と意欲を持ち、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できる。 （主体的に学ぶ態度）						○	○	◎	◎	◎	◎	◎	
		3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能）	○	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○
		4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		口頭			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎		

※ 一般選抜前期B日程では、英語資格・検定試験の公式スコアを利用できます。

## ②学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。  
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。  
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力（コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど）及び英語力を身につけ、活用することができる。
3. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。  
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
4. 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。  
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
5. 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。  
地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

## ③教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果（以下「学修成果」という。）を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1～3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
4. 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。
5. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
6. 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
7. 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
8. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

## 学科の理念・目的、求める学生像

### 英文学科

#### 理念・目的

国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
3. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。
4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

### 総合人文学科

#### 理念・目的

キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。
2. 十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。
3. 社会に対して強い関心を持ち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。
4. 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心を持ち、本学科での勉学に強い意欲を有している。

### 歴史学科

#### 理念・目的

広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。

#### 本学科の求める学生像

1. 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。
2. 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。
3. 歴史に関する基礎知識を有している。
4. 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。

### 教育学科

#### 理念・目的

人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
3. 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。
4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

### 経済学科

#### 理念・目的

時代に流されず、将来を見通す経済社会の理論とスキルを身に付けられるように基礎理論から段階的に現実の問題や政策を学習する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考えられ自分の意見を明確に主張することができる。
2. 現代社会の動きに強い関心を持ち、それについて深く調べたいと考えている。
3. 社会とは何か、特に経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲をもっている。
4. 本学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしている。

### 共生社会経済学科

#### 理念・目的

経済学のエッセンスを学びながら、年代や性別、ハンディキャップ、民族・文化の異なる多様な他者への理解を深め、共に生きる発想に基づいて、新たな社会経済システムを構想し実践できるような人材の育成を目指す。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。
2. 本学科で学びたいという明確な意志を持ち、それを自分の言葉で表現することができる。
3. ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に対して積極的に取り組もうとする意欲をもっている。

## 経営学科

### 理念・目的

経営学の知識を使って、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、よきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り開いていくことのできる能力を養う。

### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有している。
2. 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。
3. 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。

## 法律学科

### 理念・目的

法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。

なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。

「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」"Think legally, for human dignity"

### 本学科の求める学生像

1. 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。
2. 本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識をもっている。
3. 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっている。
4. 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。

## 機械知能工学科

### 理念・目的

人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。

### 本学科の求める学生像

1. 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。
2. 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぼうとする意欲を有している。
3. 本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。

## 電気電子工学科

### 理念・目的

電気電子工学の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を育成する。

### 本学科の求める学生像

1. 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。
2. 先端科学技術に強い関心を持ち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。
3. 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。

## 環境建設工学科

### 理念・目的

1. キリスト教精神に基づく、倫理観を備えた人格を形成する。
2. 社会人として必要な教養を身に付けるとともに、環境工学の素養を持った中堅の建設系技術者を養成する。
3. 特に、技術者として具備すべき基礎学力を有し、基礎的専門知識を着実に修得した実践型の技術者となる学生を育成する。

### 本学科の求める学生像

1. 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。
2. 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。
3. 社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的な生活習慣を身につける意欲を有する。

## 情報基盤工学科

### 理念・目的

社会基盤となる情報・通信工学技術を発展させ、人類の福祉に応用するという工学の使命に基づき、これらの原理を数学の基礎から徹底して学び、変化の激しいICT (Information Communication Technology) 分野において未来を切り拓くことのできる技術者を育てる。

### 本学科の求める学生像

1. 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有している。
2. IT分野に強い関心を示し、関連分野の知識を習得する意欲を有している。
3. 本学科で学ぶ心構えと意欲をもち、かつ計画的な学習活動を行うことができる。

## 人間科学科

### 理念・目的

人間を多角的・実証的に捉える力を育てる。

### 本学科の求める学生像

1. 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解できる基礎的な学力を有している。
2. 人間や社会の問題を実証的に分析する上で基礎となる数学的な思考力を備えている。
3. 自分の興味関心と将来の目標について、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。
4. 人間に対する探究心をもち、本学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。

## 言語文化学科

### 理念・目的

1. 多言語・多文化を通して人間を考える。
2. 人と人をつなぐ人になる。

### 本学科の求める学生像

1. 英語をはじめとした十分な基礎学力を有している。
2. ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかについて、第二外国語として学ぶ強い意欲を有している。
3. 自分の考えや興味関心について、筋道を立てて説明することができる。
4. 言語と文化をめぐって探求する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化(衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など)や表現文化(文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など)について、明確な理解と興味を有している。

## 情報科学科

### 理念・目的

ITスキルを身につけた教養人を養成する。

### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報システム系、数理学系、自然科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。
2. 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。
3. 他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。
4. 本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。

## 地域構想学科

### 理念・目的

グローバルな視野を持って、よりよい地域をつくる人材を育てる。

### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有している。
2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。
3. 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。
4. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にかかわっていかうとする明確な目的と意欲を有している。

## 募集定員

学部	学科	定員	学部	学科	定員
文学部	英 文 学 科	1名	工学部	機 械 知 能 工 学 科	1名
	英 総 合 人 文 学 科	1名		電 気 電 子 工 学 科	1名
	歴 史 学 科	1名		環 境 建 設 工 学 科	1名
	教 育 学 科	1名		情 報 基 盤 工 学 科	1名
経済学部	経 済 学 科	1名	教養学部	人 間 科 学 科	1名
	経 共 生 社 会 経 済 学 科	1名		人 言 語 文 化 学 科	1名
経営学部	経 営 学 科	3名		情 報 科 学 科	1名
法学部	法 律 学 科	2名		地 域 構 想 学 科	1名

【注意】 出願は1学科に限ります。

## 新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、募集要項等に記載されている内容（選抜の方法・日程・会場など）に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

## 出願資格

次の(1)~(3)のすべての要件を満たしている方です。

- (1) 2022年4月1日現在、外国籍をもつ方で、次の①、②のいずれかに該当する方
  - ① 外国において通常の課程による12年の学校教育課程を修了した方、またはその国において大学入学資格を有する方（13ページ表1参照）
  - ② 文部科学大臣の指定した方
- (2) 独立行政法人日本学生支援機構が2021年6月または11月に実施する「日本留学試験」において、下記に指定した教科・科目を受験し、日本語の得点が、受験生の平均点以上の方  
日本留学試験の出題言語は日本語です。出願する学部により次の教科・科目を指定します。

志望学部	試験科目（必須）	試験科目（選択）
文学部 経済学部 経営学部 法学部	日 本 語	総合科目、数学（コース1）からどちらか1科目
教養学部		理科（2科目自由選択）、総合科目、 数学（コース1）からどれか1科目
工学部	日本語、理科(物理・化学)、 数学（コース2）	—————

- 【注意】 ① 上記の日本留学試験で指定された全科目を受験しなかった場合は、出願できません。  
 ② 「日本留学試験」に関する問い合わせ先  
 日本留学試験受付センター  
 〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル7F 日本留学試験受付センター  
 電 話 0570-55-0585  
 （一部携帯電話、IP電話及び海外からの電話は042-649-9571をご利用ください）  
 F A X 042-649-9569  
 E-mail eju@sdcj.co.jp

- (3) 入学までに、「出入国管理及び難民認定法」の『留学』に定める在留資格に変更する方

## 出願期間

2021年12月17日(金)～2022年1月7日(金)

9時～17時 最終日は15時まで

(ただし、土曜日は9時～12時)

※ なお、年末年始期間12月28日(火)～1月3日(月)は窓口での受付を休止いたします。ご注意ください。

## 出願手続

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の送付」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト ([https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online\\_application.html](https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html)) にアクセスし、出願登録を開始してください。



### 出願書類

- (1) **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
- (2) **外国人留学生入学願書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- (3) **最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書**
- (4) **最終出身学校の成績証明書**
- (5) **「日本留学試験」の成績通知書または成績証明書**
- (6) **住民票の写し**
- (7) **パスポート・在留カードのいずれか1点**〔願書受付の際、アドミッションズ・オフィスにおいてコピーを取りますので実物を持参してください〕
- (8) **写真** 1枚（タテ4cm×ヨコ3cm）カラー・白黒とも可。上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したものを(2)の「外国人留学生入学願書」に貼付してください。なおインターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。
- (9) **大学入学資格試験または統一試験（13ページ：表1）による、それぞれの資格を確認できる証明書**（通常の課程12年を修了している方は提出不要です）
- (10) **経費支弁に関する書類で次のいずれかに該当するもの**（出入国管理及び難民認定法施行規則（抄）別表第三に掲げる立証資料として）
  - i 本人が学費・生活費を支弁する場合  
奨学金の給付に関する証明書または本人名義の銀行等における預金残高証明書
  - ii 本国からの送金により学費・生活費を支弁する場合
    - (a) 送金者作成の経費支弁書〔本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。〕
    - (b) 送金者名義の銀行等における預金残高証明書
  - iii 本人以外の日本国内居住者が学費・生活費を支弁する場合
    - (a) 経費支弁者作成の経費支弁書〔本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。〕
    - (b) 経費支弁者の課税証明書（総所得が記載されたもの）、源泉徴収票、確定申告書（控）の写しまたは預金残高証明書のいずれか1点

【注意】 預金残高証明書は、本学入学年度学生納付金相当額の残高が明記されていること。

#### ※ 卒業証明書、成績証明書、経費支弁に関する書類等について

卒業証明書、成績証明書等が日本語、英語以外の言語で書かれている場合は、日本語または英語の訳文を添付してください。（コピー不可）

経費支弁に関する書類の訳文には翻訳者の署名捺印、志願者との関係を記入してください。提出書類は原本を提出してください。

【注意】 銀行等における預金残高証明書の提出に際しては、必ず事前にアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

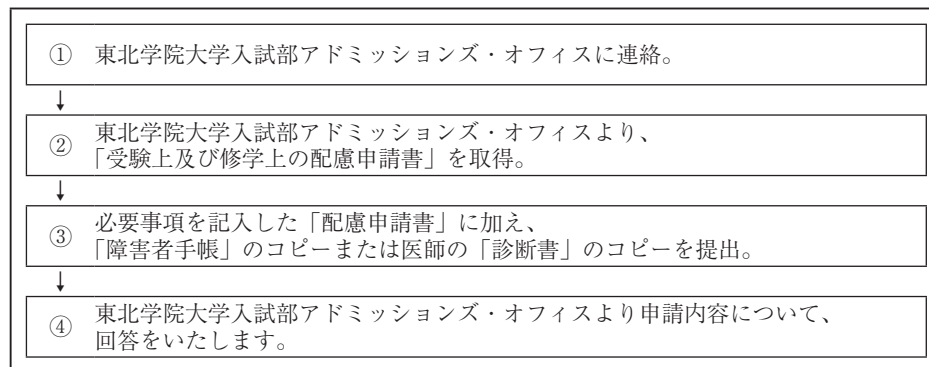


## 受験上及び修学上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な場合、出願前(入学検定料納入前)のできるだけ早い時期に必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。また、入学後、修学上の配慮を希望する場合も必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。場合によって、本学のキャンパスを見学することもお勧めいたします。

申請の流れは下表に従ってください。必要な場合、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承をお願いいたします。

### 【申請の流れ】



提出書類	「受験上及び修学上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピー
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

## 《出願上の注意》

- (1) 入学検定料を納入した後、アドミッションズ・オフィスに書類を提出してください。
- (2) 出願書類に不備があった場合は、願書を受け付けることができません。
- (3) 出願後の書類記載事項の変更は認めません。
- (4) 受理した出願書類および入学検定料は返還しません。

## 入学検定料 30,000円

### 書類審査・受験票発行

- (1) 出願書類により出願資格について審査を行い、受験資格を認めた方が受験票を発行できます。
- (2) 出願資格がない方および書類不備により受験票が発行できない方については、本人連絡先に電話で連絡しますので、出願書類送付用封筒のおもての差出人住所、氏名、電話番号は正確に記入してください。
- (3) 受験票が取得可能になると、メールおよびWEB出願サイトのマイページで通知されます(試験日の約7日前)。マイページから受験票を取得して必ず印刷し、持参してください。

**受験票は本学から郵送しません。**

## 選抜方法

【文・経済・経営・法・教養学部】書類審査、日本語による小論文、面接

【工学部】書類審査、日本語による小テスト、面接

【文・経済・経営・法・教養学部】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	50	100	100	250

【工学部】

試験科目	書類審査・小テスト	面接	合計
配点	200	100	300

## 試験日・試験時間・試験場

### 試験日

2022年2月2日(水) 10時集合 アドミッションズ・オフィスで受付を行います。

### 試験時間

学 部	学 科	10:30～11:30	11:45～
文 学 部	英文学科	小論文 (日本語による)	面接
	総合人文学科		
	歴史学科		
	教育学科		
経 済 学 部	経済学科	小論文 (日本語による)	面接
	共生社会経済学科		
経 営 学 部	経営学科	小論文 (日本語による)	面接
法 学 部	法律学科		
工 学 部	機械知能工学科	小テスト (日本語による)	面接
	電気電子工学科		
	環境建設工学科		
	情報基盤工学科		
教 養 学 部	人間科学科	小論文 (日本語による)	面接
	言語文化学科		
	情報科学科		
	地域構想学科		

### 試験場

東北学院大学土樋キャンパス（仙台市青葉区土樋一丁目3-1）

※試験教室は、受付の際、案内します。

### 《受験上の注意》

- (1) 次のものを必ず持参してください。
  - ①受験票
  - ②筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）
  - ③在留カード・パスポートのいずれか1点
  - ④時計（時計は計時機能のみのものが使用できます。スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末等は使用できません。時計の貸出は一切行いませんので必ず持参してください。）
- (2) 受験者以外は、試験教室に入室できません。
- (3) 試験開始後30分以上遅刻した場合は、受験できません。
- (4) 試験時間内の退室はできません。
- (5) 試験教室では、監督者の指示にしたがってください。

## 合格発表日

2022年2月15日(火) 14時

合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。

また、14時からは合否照会システム(12ページ参照)を利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

なお、出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

## 入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了となります。詳細は合格通知書に同封される「入学手続要項」を参照してください。

### 入学手続期限

手続方法には、「全納」と「分納」の2つの方法があり、どちらかを選ぶことができます。

手続日 手続方法	2月22日(火) 15時必着	3月10日(木) 15時必着
全納	・入学時納付金の全額納入 ・「振込済証明書(全納)A」 と指定書類の提出	—
分納	〈第一次手続〉 ・入学金の納入 ・「振込済証明書(一次)A」の提出	〈第二次手続〉 ・入学金を除く納付金の納入 ・「振込済証明書(二次)A」と指定書類の提出

### 入学手続上の注意

- (1) 入学手続期限までに入学手続を完了しない場合は、入学の意志がないものとみなします。
- (2) 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2022年3月31日(木)までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細は本学ホームページを参照してください。

## 学生納付金等

[2021年度参考] (単位:円)

項目	学部 文学部英文学科・総合人文学科・歴史学科 経済学部・経営学部・法学部			工 学 部			文学部教育学科・教養学部		
	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計
* 入 学 金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	390,000	390,000	780,000	539,000	539,000	1,078,000	437,000	437,000	874,000
施設設備資金	90,000	90,000	180,000	115,000	115,000	230,000	110,000	110,000	220,000
工学部実習料				35,000	35,000	70,000			
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
学 納 金 計	<b>760,000</b>	490,000	1,250,000	<b>969,000</b>	699,000	1,668,000	<b>827,000</b>	557,000	1,384,000
後 援 会 費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
*同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同 窓 会 費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	1,200	0	1,200				1,200	0	1,200
工 学 会 費				500	0	500			
*学生会入会費	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000
学 生 会 費	6,000	0	6,000	8,000	0	8,000	6,000	0	6,000
諸 会 費 計	<b>30,200</b>	0	30,200	<b>32,500</b>	0	32,500	<b>30,200</b>	0	30,200
合 計	<b>790,200</b>	490,000	1,280,200	<b>1,001,500</b>	699,000	1,700,500	<b>857,200</b>	557,000	1,414,200

### 【注意】

- ① 2022年度入学生については、上記の金額が改定されることがあります。
- ② \*印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の学生納付金は入学後10月に納入することになります。
- ③ 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。
- ④ 入学翌年度からの学生納付金は、前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになります。

授業でノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続きの際にお知らせいたします。

### 「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、授業開講日の毎朝10時25分～10時45分の20分間、本学礼拝堂において、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聞く大学礼拝が行われます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が対応いたします。

## そ の 他

### ○宿舎について

東北学院大学には、留学生のための特別な寮や宿舎はありませんので、各自でアパート等を確保することになります。なお、アパート等の斡旋は、合格決定後に、東北学院大学生生活協同組合でも行っています。

## 合否照会システムについて

### 1. 利用方法

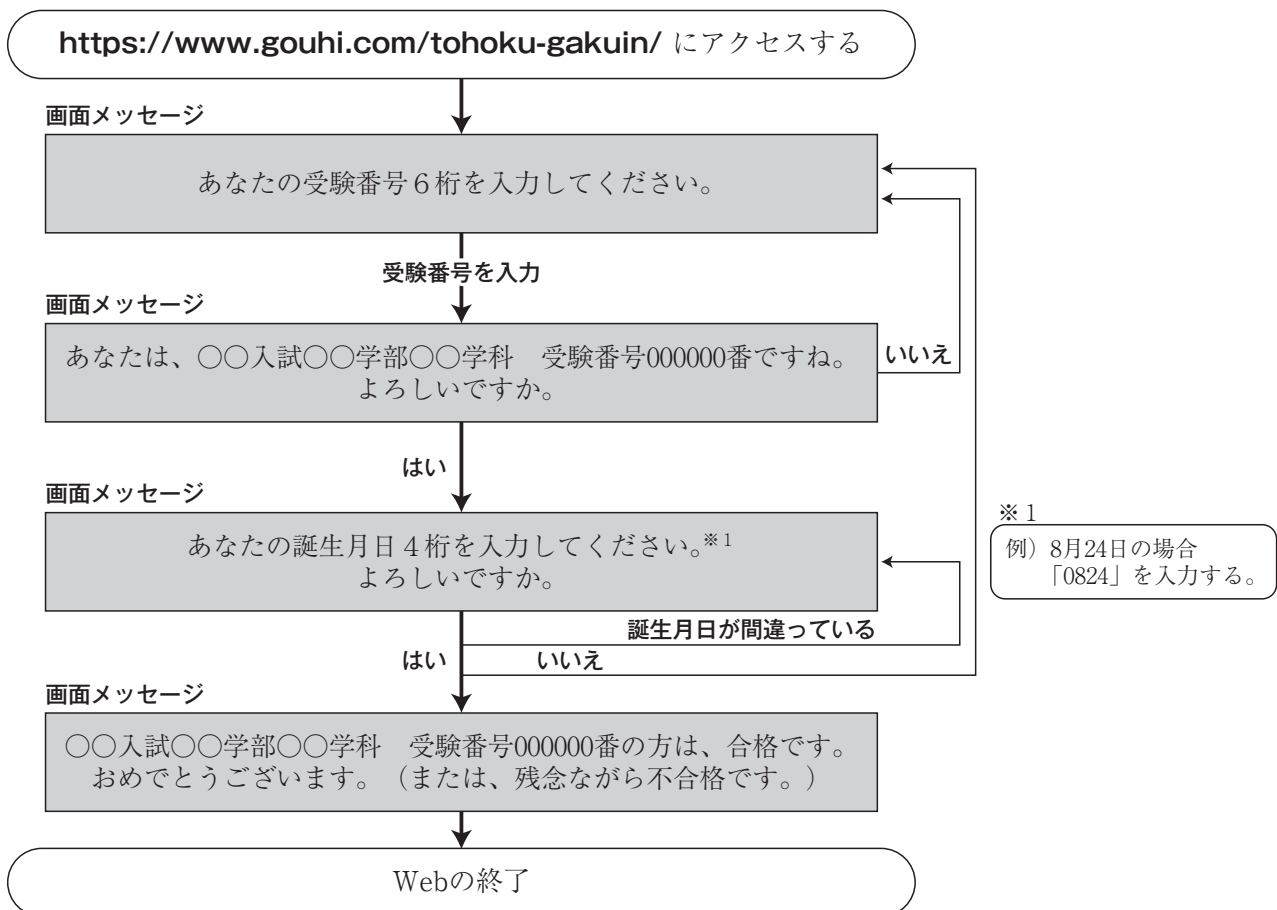
- (1) 本システムでは受験番号（6桁）と誕生日（4桁）を利用します。操作方法をご参考の上、ご利用ください。
- (2) 操作方法や受験番号等に関する問い合わせには応じられません。受験生本人以外の方が本システムご利用の際は、必要事項をあらかじめ本人に確認・了承の上、ご利用ください。

### 2. 利用上の注意

- (1) 合格発表は、合格者宛に送付する合格通知書をもって正式なものとしします。
- (2) 本システムの「誤操作」等を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。
- (3) 本システムは以下の期間のみ利用できます。  
2022年2月15日(火) 14時 ~ 2月19日(土) 17時
- (4) 合格発表日（合否案内開始直後）は、Webでの通信が遅くなったりする恐れがあります。そのような場合は少し時間をずらしてご利用ください。
- (5) 本学への電話等による合否や成績に関する直接の問い合わせには一切応じられません。

### 3. 操作方法

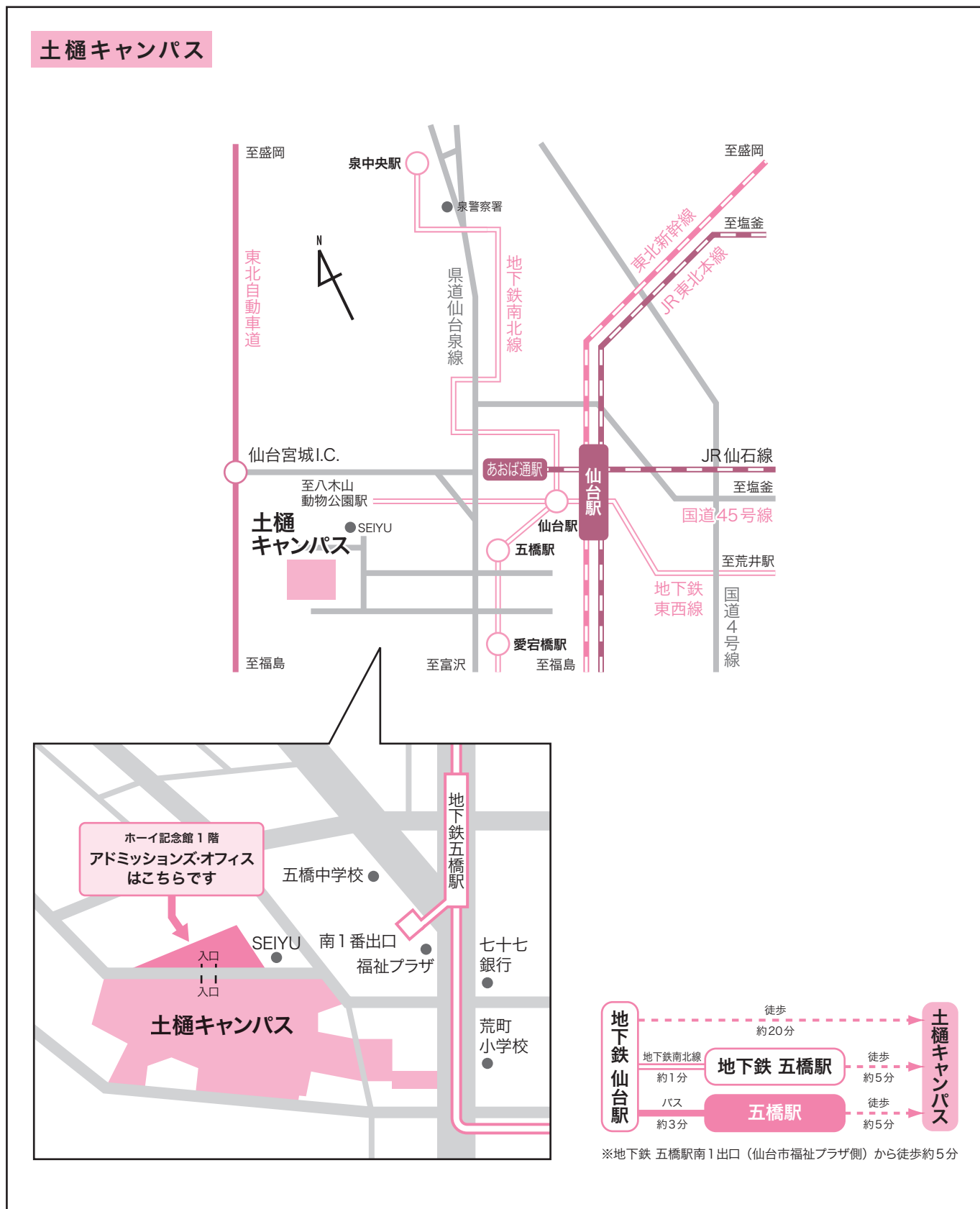
- (1) Webによる合否確認の方法（パソコン・スマートフォンでの確認方法）



〔表1〕 大学入学資格試験または統一試験

分 類	試 験 名
I アメリカの教育制度によるもの	次の2種類の試験 1. SAT Reasoning Test (旧 SAT I) または、The American College Testing Program (ACT) 2. SAT Subject Tests (旧 SAT II)
II イギリスの教育制度によるもの	General Certificate of Education (GCE)、General Certificate of Secondary Education (GCSE) 両試験で計5科目以上、ただしGCE A levelを2科目以上含むこととします。 (AS level は2科目で、A levelは1科目に相当するものとします)
III フランスの教育制度によるもの	バカロレア資格試験 Baccalauréat
IV ドイツの教育制度によるもの	アビトゥア試験 Abitur
V オーストラリア及びニュージーランドの教育制度によるもの	現地実施の統一試験 ただし、統一試験の結果を出願期間内に提出できない場合は、他の教育制度による試験を受験してください。
VI 韓国の教育制度によるもの	大学修学能力評価試験 College Scholastic Ability Test (CSAT)
VII 国際バカロレアの教育制度によるもの	国際バカロレア (IB) 最終試験6科目
VIII その他の教育制度によるもの	当該国の大学入学資格試験または統一試験 ただし、大学入学資格試験または統一試験のない国については、上記 I～VIIのいずれかの試験

# 試験場案内図



東北学院大学 アドミSSIONズ・オフィス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL : 022-264-6455 FAX : 022-264-6377